

しんおんせん

議会だより



“再編が完了した温泉小学校入学式”

平成24年度
一般会計予算可決

太陽光発電導入事業
4305万円予算化される

P2~6

一般質問 10人が質問

中村経逸 西脇 明 宮脇 諭 谷田一富
植田光隆 西村公子 小林一義 西村銀三
谷口 功 中井次郎

P7~16

条例改正

P17

23年度 補正予算審議
臨時議会

P18

委員会報告

総務教育常任委員会
産業建設常任委員会 P19~21
環境福祉常任委員会

意見書

P22

採決一覧表

P23

みんなの広場

P24

照来ふれあい市ふるさと加工グループ

しんおんせん議会だよりは、四季折々の色で印刷しており、今回は桜のピンクです。

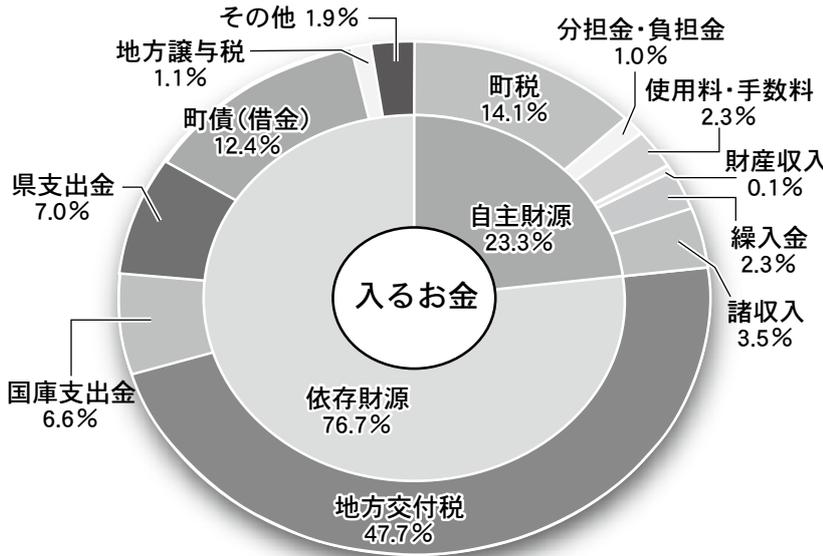
一般会計予算

24年度一般会計予算可決

賛成 12名
反対 3名

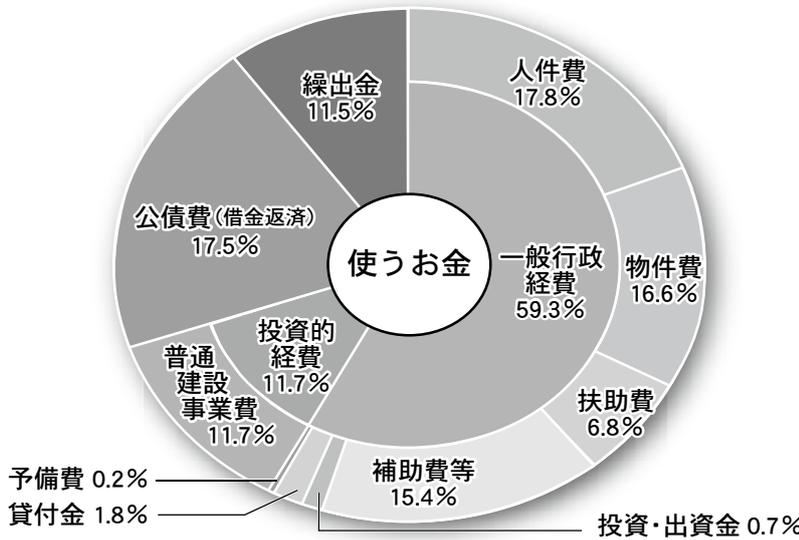
太陽光発電導入事業 4305万円予算化される

— 浜坂学校給食センターの屋根にソーラーパネルを設置 —



第50回(平成24年3月)定例会が3月1日に招集され、23日まで23日間の会期で開催しました。
町長から平成23年度補正予算案と平成24年度予算案等が提出されました。

平成24年度予算案は、予算特別委員会を設置し、議長を除く15名の委員で5日間審議しました。
主な質疑は次のとおりです。



会計別概略

[単位: 万円、%]

区分	平成24年度当初予算額(a)	平成23年度当初予算額(b)	比較増減(a)-(b)	増減率
一般会計	100億9,000	96億7,600	4億1,400	4.3
特別会計	49億6,834	47億6,504	2億330	4.3
公営企業会計	22億4,012	22億4,465	△453	△0.2
合計	172億9,846	166億8,569	6億1,277	3.7

予算特別委員会

平成24年度

一般会計予算

質疑

歳出

問 人件費圧縮のため臨時職員の採用があるのか。

答 地公法第22条で対応している。

問 浜坂地域の光ファイバー導入で温泉地域との速度の差は。

答 温泉地域は現在15メガで支障はない。

問 浜坂地域で光ファイバー通信が開始された。加入者数はいくらか。

答 2月現在ネット771件、TV321件、電話722件、約1千戸だ。

問 町民タクシーの実績はどうか。

答 1月末、169万円、3月末で202万円見込んでいる。

問 雪おろしの緊急対応は。

答 基金はない。

問 婚活プロジェクト連絡協議会は何回開催か。

答 2回開催し事業等検討した。

問 町歌等制定は。早目に対応する。

問 地域振興事業は平成23年度は約600万円、今回200万円だ。

答 24年度分は事業申込みが少なかつた。

認定子ども園

問 認定子ども園に栄養士を配置すべきだ。

答 豊岡の栄養士と調理師で対応している。

問 臨時保育士の対応、正規職員に。

答 10年の間で改善につとめる。

問 二十代3人、三十代1人、四十代3人、五十代22人。

エコ・タウン構想

問 エコ・コンパクトタウンの概要版は誰にしますか。

答 町民向けである。構想は、エネルギー環境として必要、具体化して力をそそぐべき。

問 エコ・コンパクト基本構想ができています。新エネルギーは協議会では住民や専門家等の意見を聞いて具体的にすすめることにした。

問 温泉バイナリーの考えは。

答 県が調査する。推進には地元との調整が必要だ。

問 再生エネルギー補助の試算は。

答 近隣市町を参考に1キロワット5万円、1軒当りの限度額が20万円である。

問 太陽光発電になぜしたか。小水力発電、ペレットも必要だ。

答 エコ・コンパクト基本構想にはのせているが、住民が取り組みやすい太陽光からとした。徐々に進める。

問 エコ・コンパクトの屋根、雪持ち損傷の対応は。

答 手戻りにならないように厳格に対応する。

問 高齢者対策

問 在宅寝たきり者の訪問歯科指導状況は。

答 H7年より歯科医師との話し合いで進めている。

問 資源ごみ集団回収の実施団体は。

答 27団体である。

問 生ごみ処理機 生ごみ処理機助

成。再度全戸導入を推進すべきである。

問 申請者多くあれば補正対応する。

医師対策

問 医師対策費を大幅に減額しているが何か。

答 募集広告費のちがいである。

問 禁煙条例を町独自で制定してはどうか。

答 現状では困難である。

問 新規就農総合支援事業

問 新規就農事業に支援を。

課長 地元を中心に関係機関と協議し対象者を選任する。

問 有害獣対策 狩猟免許取得者に対する便宜は。

産業の6次化

問 産業の6次化の新たな事業展開として、松葉力二、但馬牛、米等ブランド化を農林水産課に強く望む

答 活性化を図る。

夢公社

問 株夢公社への指定管理料を引き上げた根拠は。

答 H23年度は入込客減少、大幅な収入減となり、ボーナスを減額した。H24年度は、人材確保、誘致PR活動、管理費縮減、退職者の補充はしない中で改善努力する。

ジオパーク関連

問 「湯村会議」の内容は。

答 平成24年11月23日、24日、湯村温泉で、約100人出席し、研究報告、活動報告を行う。

水産振興

問 水産振興、商工観光課は動く広告塔になれ、人任せのPRでは駄目である。名刺、ラッピング、かにタグ、ゴールドストラップ等研究工夫することを提言する。

答 指摘事項を主体的に実施したい。

用地管理

問 未登記の内容、分析はどのようになっているか。

答 予算がなく、登記処理はあまり進展していない。

問 旧浜坂警察の跡地利用は。

答 公園化に向けて、24年度設計、25年度工事着工の予定。

防災

問 地震による津波、防災マップの見直しは出来ているのか。

答 防災会議を開催し、決めていきたい。

問 防災用の備蓄は。

答 年々補充している。

問 全町民に『あんしんシート』を提供し、災害時に備えよ。

答 検討をしていきたい。

歳入

問 町税の滞納は。

答 町税・国民健康保険税1億8790万円495名である。

問 不動産売却の促進を図れ。

答 売払い未利用町有地の処分売却を促進している。

問 若者定住からも土地価格をおさえて売れるよう努力すべきだ。

答 住宅地として適地なら引き下げるなど整合性をもって対応する。

問 中小企業振興資金融資預託金の4千万円

減額の理由は何か。

答 今年度1億で、4千万円は一般財源化される。

問 財政調整基金予定で4億だが、実際は8億であった。今年度は6億8千万円としている。資金繰りはほぼ良好で、24年度も削られるといった厳しいものでない予算とみてよいか。

答 交付税については、補助が可能になったのは、経常的経費を削減し、有利な財源をあてることの出来る投資的経費は積極的に取り入れた。その結果基金の繰り入れが昨年同様2億円を超えた。

問 大震災後、放射能数値に関心が高まった。町も数値の把握できる機器購入をすべきだ。

答 放射能測定器は豊岡市、鳥取市に設置されている。原子力は島根と福井にあり、当

町は90キロメートル、100キロメートル中間点にあり、設置の考えはない。食品関係は県の機関を通じ検査されているのでゆだねたい。

問 住宅リフォーム事業、予算化すべきだ。

答 定住促進について24年度はハードルを下げた。600万円予算化しており、新たに瓦替え、電気、給排水工事等を補助対象とした。

問 たばこ税1273万円増額の理由は。

答 一昨年10月税率引き上げによる。3カ年減少したが、減少に歯どめがかかった。

問 旧浜坂町貸付牛事業は、何頭で償還は何年か。

答 貸付と返済で19年度1人いて3頭分、25年度返済終了となる。

問 町税徴収体制の強化、また最大限の努力

をする対策はあるか。

答 町民の協力、職員
の収納技術の向上等で
対応する。

問 この町に税金を納
めるメリットは。

答 個々それぞれの政
策に表われる。若者向
け住宅政策や、住宅地
高に、てこ入れ等対応
している。

問 のぎく作業所運営
費負担金194万円の
内容は。

答 香美町と新温泉町
の精神障がいの人が利
用している。人数割り
で香美町からもうら分
が194万円である。

問 宇野雪村賞応募料
はいくらとっているの
か。

答 支出は雪村で20
4万2千円、純孝63万
3200円支出してい
る。応募料は応募の方
からのもので、昨年と
同様である。22年度同
様歳入を見込み、それ
以上の歳出を見込んで

いる。

総括質疑

問 水道水のにごりの
周知方法は、区長を通
じ該当地に知らせてい
るのか。全町民にも知
らせるべきだ。

答 水が飲めないこと
になったので該当地の
区長に放送依頼した。

問 学校給食について、
北但給食施設協
会の援助ができなかつ
たのか。浜坂給食セン
ターで助けられなかつ
たか。

答 北但クリーンセン
ターへは発泡スチロー
ル等は持ち込めるの
か。



答 3月18日(日)連
絡があった。後3日と
いうことで、浜坂で、
きちつとした対応がで
きないので弁当持参に
した。

問 給食センターの統
廃合はどうするのか。

答 24年度検討委員会
で検討していく。

問 東日本大震災のが
れき処理の受け入れは。
答 県の指示に従う。

問 北但クリーンセン
ターへは発泡スチロー
ル等は持ち込めるの
か。

答 発泡スチロール等
は検討中である。

問 事業系廃棄物の
持ち込みを新温泉町は
行っている。それが北
但クリーンセンターで
はできないのか。

答 町は持ち込みが
できないと言っていない。
産業廃棄物には制
約がでてくるかも知れ
ない。

反対討論

中井次郎

評価する点

- 温泉地域放課後児童クラブの新設

温泉地域において
は合併前からの課題
であった。

- 図書館予約システム、第1次産業の活性化と6次産業化を
図る地域資源活用促
進事業

評価できない点

- 北但広域事務組合
負担金(広域ごみ処
理施設敷地造成)い
まだに町民には、ご

みを豊岡市竹野町坊
岡まで持つていくの
か、納得がいつてい
ない。新温泉町一般
廃棄物処理計画の見
直しについても、そ
の作業半ばである。

● リフレッシュパー
ク湯村における指定
管理料大幅増。経
営努力がどこまで行
われたのか疑問で
ある。リフレッシュ
パーク湯村は赤字経
営。ところがその指
定管理している夢公
社は毎年現金で配
当。この矛盾を解消
すべきだ。



9 特別会計・3 企業会計 可決しました。

☆平成 24 年度 特別会計

(単位：千円)

会 計 名	平成 24 年度 当初予算額
国民健康保険事業特別会計（事業勘定）	1,940,674
国民健康保険事業特別会計（照診施設勘定）	45,445
国民健康保険事業特別会計（八診施設勘定）	42,487
国民健康保険事業特別会計（歯科診施設勘定）	66,671
後期高齢者医療特別会計	203,002
介護保険事業特別会計	1,504,416
浜坂地区残土処分場事業特別会計	79,952
温泉地区残土処分場事業特別会計	17,700
コミュニティ・プラント事業特別会計	100,409
簡易水道事業特別会計	63,145
七釜温泉配湯事業特別会計	7,396
下水道事業特別会計	897,042
【特別会計合計】	4,968,339

☆平成 24 年度 公営企業会計

(単位：千円)

会 計 名	平成 24 年度 当初予算額
浜坂温泉配湯事業会計	66,963
水道事業会計	584,787
公立浜坂病院事業会計	1,588,365
【公営企業会計合計】	2,240,115



**24 年後期高齢者医療
反対討論**

谷口 功

この会計で町の主な業務は、保険料を徴収しそれを兵庫県後期高齢者医療広域連合に納めることだ。したがって、保険料率や医療サービスの内容を決めるのは県広域連合である。制度は2年ごとに保険料を見直すことになっておりこの度は6%の引き上げだ。24年度は消費税や介護保険料の大幅引き上げが予定されている。また、年金引き下げなど収入は減る一方である、これでは高齢者の生活が圧迫されるばかりだ。よって、ここで保険料引き上げに反対の意思を示すものである。

**24 年介護保険予算
反対討論**

谷口 功

介護保険料は2000年の制度開始以来、3年ごとに料金引き上げを続けてきた。現在、介護給付費の20%を65歳以上の高齢者が保険料として負担することになっていく。そのため、高齢人口が増加し、介護サービス利用が増えるほど保険料が高くなる仕組みになっている。これは高齢化に伴い保険料が際限なく増え続ける。介護保険の根本的欠陥である。国と自治体の負担割合を抜本的に増やすこと、さらに低所得者からも保険料をとりたてる現行のやり方は今すぐ改めるべきである。この度の大幅引き上げは高齢者に耐え難い負担となるため、一般会計から繰り入れて負担軽減を図るべきだ。

一般質問

問

光ネット利用料金割引料金継続又は町の助成を

町長 光ネット利用料は高くないと思っ



中村 経逸 議員

問 浜坂地域光ファイバーが供用開始した。試算見込数は。

町長 1260世帯で全体世帯数の35%である。

問 35%は低いのでは。
町長 町民の判断による。

問 光ファイバーは、光ネット、電話、テレビで利用料月額4900円、電話月額3000円、テレビ月額1300円。光ネット、テレビは開始1カ年は月額1千円、800円割引

きと聞いているが。
町長 そのとおりである。

問 浜坂地域のケーブルテレビ事業計画時100メガネット利用料は月額4千円であった。
町長 そのとおりである。

問 国の方針のユビキタスネットは温泉地域の5メガ、15メガでは低い。
町長 今回の光ファイバーは、その社会実現のため対応した。温泉地域はテレビにおいても一定のスピードアップを図るべく機器の更新をしている。

問 浜坂地域の光ネット、テレビ利用料開始1カ年料金を継続する旨会社へ申し込むこ

と。受け入れなければ町がユーザへ助成すべきだ。

町長 会社も1地域だけは無理ではないか。町の助成は光ネット利用料は高くないと思っ

ている。
問 光ネット等1カ年割引は、会社の採算が合うこと。料金を継続の旨強く求めていくこと。

町長 企業は、この方法はよくある。料金設定の中で他社と比べてどうか等ユーザとして対

応すべきである。

浜坂病院4科(外科・整形・耳鼻科・小児科(休診中))の常勤医師を急げ

問 小児科・整形外科常勤医師が退職した。その理由は。

町長 小児科医師は一人身上であり整形外科医師は職務専念義務違反等で分限処分として免職した。

問 私は以前にも、外科・整形外科・小児科(休診中)も常勤医師がいな

い。科再開について質問し困難という答弁だったが、小児科・整形外科常勤医師招聘できたのはなぜか。

町長 紹介会社を通じてである。

問 兵庫医大の協力により耳鼻咽喉科の非常勤医師に来ていただ

いているが、常勤医師を迎えられないか。
町長 現段階では難しい。

問 現在では外科・整形外科・小児科(休診中)も常勤医師がいない。兵庫医大・神戸大学・鳥取大学には、どう話しているか。

町長 3大学とも医局の医師が絶対数不足している。難しい。

問 鳥取因幡定住自立圏の取り組みで病院間の医師派遣明文化せよ。
町長 各病院も医師不足で明文化は困難である。



進められている光ネット接続工事現場

問 24年度町長施政方針について

町長 エコ・コンパクトタウン構想の実施



西脇 明 議員

問 岡本町政3年目の予算編成について、具体的に伺う。わが町も予想をはるかに上回る人口減少、最近の政治情勢でなぜ大阪橋下市長が脚光を浴びるのか、そのキーワードは「改革」です。昨年度打ち出した「産業振興・雇用の創出」「若者定住」「ジオパーク活用した交流人口拡大」の3本柱、成果はどうであったか。本年度の目玉は何か、町の財政も厳しく、義務的経費が大半を占め、投資的経費に回る予算は少な

く、徹底した経費削減が求められている。町の目安である実質公債比率18%はいつ実現できるのか。新温泉町基本構想10年計画で、各課が膨大な項目について、毎年点検されている。民間手法に近づきつつあります

が、町の目指す方向をより具体的に示す必要があると思う。

町長 新温泉町基本計画後期5年計画に入っていく中で、予想以上の人口減少になってしまった。新年度予算は、枠配の中で一般行政経



太陽光発電導入予定の浜坂学校給食センター

費の削減に努めた。本年度も3本柱は継続し、中でも「エコ・コンパクトタウン構想」は具体化した。太陽光発電の予算化、県の事業で、温泉を活用した発電にリンクした協議会設置、住宅補助事業の拡充など手がける。事業の見直しで、CATV、浜坂駅南北自由通路廃止など20数億円を止めた。健全な行財政の改革は町の柱である、うまくいけば、24年度決算で、18%がされる位置まで来ている。

値上げにつながったのではないかと。施設に入所したくても出来ない人、在宅介護の方へ町独自の手立て等考えてはどうか。

町長 高齢化の急速な進行と介護を必要とする人の増加、施設利用者の増加が主な要因である。現在240名の方が入所している。介護認定者数も増加しており、施設介護・在宅介護を含めて、将来予測と3年前の把握が十分でなかったと思われる。

問 県下で一番安い保険料であったわが町が、なぜこれほどの値上げとなったのか、施設利用者が増えて保険料の

介護保険料の改定は 施設入所も満床状態で在宅介護の必要性も増しており、従来から在宅に対する補助等再三言われているが、現時点で予算措置をしていないが、直接的支援も必要かと考えている。

一般質問



宮脇 諭 議員

問 雪下ろし隊まずは町内で組織を

町長 今後続くようなら対応に努める

安心安全の豪雪対策

問 2年続きの2メートルを超える豪雪。その原因に地球温暖化が大きく関係しているといわれる。とするならば、2年続きの豪雪は今後3年、4年と続く可能性を否定できない。わが町の豪雪地域は災害(雪害)被災地域という認識を持つがどうか。

町長 非常に大きな降雪であったのは紛れもない事実。住民の皆さんが生活上の難渋を来しているのは御指摘のとおり。天災ではあるが法令上の災害ではない。

問 2年続きの異常積雪。とりわけ高齢者世帯にとってまさに生命、身体、財産にかかわる脅威だ。高齢世帯の雪下ろし1万円の見舞金支給だけで安心安全の生活という町の将来はあるか。

町長 社協の扶助費を含めれば2万円である。ただ業者による税抜きで一人当たり時給4500円という雪下ろし料金が相当多額であることは感じている。

問 業者による屋根の雪下ろし。総じて一

回10万円。年金収入に頼る高齢者世帯にとつてまさに大雪にも匹敵する脅威。とはいえ今後、高齢化、少子化、建設不況によって雪下ろし作業員の確保すら困難な状況も予測される。高齢世帯の雪下ろし、町外からの災害ボランティアにも期待するが、まずは町内で組織すべきではないか。

町長 マンパワーの減少は否めない事実。通常の雪おろしという対応では行政組織はそれようになっていない。できるだけボランティアも町内で組織し、町外にも広げていく。まずは町内からというのとはそのとおり。今後このような状況が続くなら、しかるべき対応に努めたい。



ボランティアによる屋根の雪下ろし作業

問 このたびの豪雪で町の除雪計画外の集落内町道の通行確保で当該地域の集落は相当の除雪経費を費やしている実態がある。見過ごしてよいか。

町長 集落の幹線道路を除けば、従来から集落或いは近傍者での対応ができていた。幹線の明確な基準はない。

問 高齢者の雪害対策は、単に雪そのものより、社会全体の構成が昔と変化した構造的な社会問題だ。寒冷化が毎年頻繁に繰り返されるなら、豪雪地域に暮らす町民の安心・安全の町づくりとは何か。最低限、生命、身体、財産が守られる町の施政とは何か。いま一度、考えていただきたい。

町長 十分に意を用いる必要性はもとより感じている。まことにそのとおりである。

問 24年度予算に人口減対策が反映されているか

町長 長寿社会に備え今までの施策を継続する



谷田 一富 議員

問 新温泉町にとって最大のテーマは県下の減少率を誇っている人口減対策であると思うが24年度予算においてどのように反映しているか。

町長 24年度予算編成において、住民の皆さんが健康で長生きして頂くことを前提にこれまでの施策を継続しながらやっていく。

問 道路網が整備されると鳥取に買い物に出る、地元の商店は大変なことにならないか。

町長 鳥取が通勤圏内になり雇用が確保される。新温泉町に住んで、仕事は鳥取でということが可能になる。

問 住んでよかった、

住み続けたい町新温泉町をアピールするとして、何を主張していくか。

町長 多様な自然と200世帯の温泉配湯等海、山、温泉、人が輝く町を主張していきたい。

給食費無料化について

問 国民生活白書によると子供1人の養育費は22才までで3000万円かかるそうである。国1軒と匹敵する。国の出生率が1.39人ある意味納得できる数字だと思える。少子化の中、全国でも増えてきつつある給食費無料化は町が子育てを手助け出来るせめてのものだと思うが。

町長 現在給食費は7400万円かかっている。すぐにはないが、そのような思い切った対応も視野にいれていくことが今後必要だと

婚活プロジェクト協議会について

問 人口増を図っていく上で大切なことは婚活である。我が町の婚活プロジェクトはどうなっているのか。

町長 24年度に協議会を立ち上げて、具体的な活動に歩を進めていく予定である。

問 青年会議所、商工会青年部等県下にネットワークを持っている若い方の団体、また町の諸団体などに幅広く声をかけると同時に独自で活動している団体には活動費を出してはどうか。

町長 今後において、社協、産業団体や企業、ボランティア団体に声をかけて一緒に、今後の方針を検討していきたい。

北但クリーンセンターへのゴミの持ち込みについて

問 22年度実績で1400トンのゴミの持ち込みがあるが、商工業者の皆さんは森本地区までゴミを持っていくことになるのか。そうになると、かなりの負担になると思うが。

町長 業者の皆さんの持ち込みゴミは排除するわけではないが、本来業者の皆さんが企業責任で処理するのが原則だ。今後の検討材料

である。

問 最終局面がきている段階でまだ持ち込みゴミをどうするか決まっていない。本来、町民に負担をかけるなら、まずその事を先に議論すべきではないか。決定していく順番が違う。

町長 事業者については産業廃棄物処理事業者での処理も一つの方法である。また各家庭から出されるゴミの、ゴミ袋の値上げは現段階で考えていない。



北但ごみ処理施設完成予想図

事業系ゴミの持ち込み可能か

一般質問



植田 光隆 議員

問 第一次産業に活力を

町長 喫緊の課題の一つと認識している

第一次産業について 新規就農者の確保

問 我が町の21年度の総生産額は417億円。そのうち、第一次産業は約30億円、比率は約7.2%で経済効果は低いと思われるが、町全体から見てしっかり守るべきと思うが。

町長 一次産業の振興については、可能な限り一定の意を用いる、それが喫緊の課題の一つだと認識している。

新規就農者の確保

問 将来の認定農業者として期待できる人材を一人でも多くつくり、担い手の確保に取り組んでほしい。

課長 今年、国、県の就農支援事業が打ち出されたのに随伴し、青年就農給付金の対象となる方々を関係機関と協議し選任したいと思う。

ブランドの確立と販売戦略

問 我が町は、他市町と比較し遅れをとっている。今後どのような手法でブランドの確立、販売戦略をされるのか。

町長 都会等でのアピール度が少ないのは現実。

実。漁協も含めて人材確保とマンパワーが必要だ。私もトップセールスをしていると認識している。

六次産業化について

問 本年度の新規事業である、地元食材を生かした新たな特産品開発の支援は、産業振興に於いて活性化に繋が

る事業と思う。内容は、**課長** 一次産業の活性化を狙う町内企業、5人以上の生産者グループ等に、事業費に対する2分の1補助を300万円予算化し、三年間予定している。

組織・機構の見直し

問 この度、町長及び教育長の権限内での、

課、係りの見直しを実施された。特に総合支所は大きく変わり、窓口業務を除く業務は本庁に所管換えとなっている。温泉地域の行政サービスが従来どおり出来るのか。

町長 支所機能の具体的なサービス低下は一切なく、災害発生時には地域担当制を導入し防災体制を強化する。

除雪対策について

問 山間部で2年続きの大雪となり、高齢世帯では多額な除雪費用の負担を強いられている。また、空き家などの危険箇所も見受けられる。除雪特例基金を設定し規定の範囲内で支援していく考えはないのか。

町長 基金を造成していくのは困難。随時限られた財政の中で対応したい。

第1次産業活性化に

浜坂漁港セリ市場▶



◀畑ヶ平ダイコン

湯村の地熱発電の今後の展開は

町長 地熱発電でなくバイナリー発電を考えている



西村 公子 議員

問 湯村温泉の宿泊客が17万人程度で推移している。年間20万人をクリアすれば温泉観光協会補助金を倍額にすると言われたと聞く。

町長 言った覚えはない。

問 ふれあい足湯が洪水で埋まると聞く財産区、協会、旅館組合が作業された。町のかかわり方は。

町長 観光地であり財産区を通して対応した。

問 杜氏館の将来展望についての考えは。賃貸契約が6月までと聞く。

町長 現状で事業展開していく。24年度予算化をしている。



宿泊客が多く望まれる湯村温泉街

問 地熱発電の今後の展開は。

町長 今ある湯を使つてのバイナリー発電であり地熱発電所ではない。24年県で調査をし、可能であれば25年で事業化の計画となる。

問 湯快リゾートオープンの報道がある。不安感、期待感もある。新聞報道以上の

情報はもっていない。4月10日オープンで客室65室250人。京都、大阪、四国高松、岡山より直通バスが来ると聞く。

問 観光協会もある、情報収集も出来る。旅館組合もあり情報は大切だ。

町長 旅館組合がある組織の中で協議すべき。

問 旧八田屋旅館の壁の落下が心配だと町民の声があるが。

町長 行政が家屋等に対して話が出るものでない。

山陰ジオパーク推進は

問 山陰ジオパークの遊覧船の後継者問題はどのように進展しているのか。

町長 応募があり順調に推移していたが目を痛めたため勤務は困難で調整中。

問 遊覧船発着場の進捗は。

町長 23年予算化、24年3月末完成予定。切符売場は24年度予算でお願いする。

ジオパークとカニソムリの融合を

問 カニソムリ工は技術もマナーも超一流であると認識している。



遊覧船に乗船する子どもたち

町長 かに料理を含め素晴らしい料理だ。

問 観光立町の財産であるカニソムリ工と第一次産業であるカニ料理を提供する場があればとの思いがある。

町長 海産物、農産物も素晴らしい料理だ。

問 ガイドの育成計画は。

町長 海の上での仕事であり大変むずかしい部分もある。

一般質問

問 給食センターの統合は

町長 25年度までに検討、27年度実施

24年度所信表明について

問 選択と集中による予算配分を行った。とあるが行政評価による事業の見直しは。
町長 一定の削減をした。

問 行革の検証は出来ているのか。
町長 約8%の事業見直しを行った。

問 税金のムダをなくするために、行政コストの見直し原価計算をすべきだ。
町長 コスト意識を持



小林 一義 議員

つことは必要なことだ。温泉・浜坂給食センターの統合は、検討しているのか。
町長 25年度までに一本化を検討し、27年度実施したい。

問 全職員への人事評価制度導入はいつまでに行うのか。
副町長 25年度には全職員を対象に試行実施して行きたいと思う。

問 「道の駅」の建設はどこまで検討し進んでいるのか。
町長 県との調整が遅れている。

問 25年完成予定がいつになるのか。
町長 25年に実施設計の対応になる。

問 運営管理の問題はどうなっているのか。
町長 並行して行って

いるが、さほど進展はしていない。
問 地産地消の拠点として重要だ。早い完成を望む。

町長 最大の努力をする。
問 補助金・委託料の見直しで24年度予算に反映されたのか。
町長 廃止、継続と対応はさせて頂いた。

問 見直しは基準に基づいて決定しているのか。
町長 期間・効果・将来性を検討し対応した。

問 長期間金額が同じ団体がある。
町長 公益性・必要性の視点で対応した。

問 介護予防と生活支援サービスの取り組みは。
町長 機能的に他と連携し、保健・健康・医療に努めて長生きをし

介護保険について

て頂く。

問 4月より保険料が上がる、抑制のため介護予防施策に力を入れるべきだ。
町長 その通りである。

問 地域包括支援センターの充実が最重要課題である。
町長 給付費の高騰で、現状維持が非常に大変である。

問 保険料の抑制で「介護ボランティアポイント制度」を導入すべきだ。
町長 提言

として良く聞かせて頂きたい。
問 地域全体で支えあい「地域づくり」になる。ぜひ実施すべきだ。
町長 検討

していきたい。
問 認知症

の特性に応じた、個々の予防推進を図るべきだ。
町長 健康講座、フォーラム等取り組んでいる。
問 早期発見が大切だ。
町長 健康で長寿を目指す。

*議会誌より第25号(1月発行)の一般質問の小見出しで「ジオパーク振興」となっていました。訂正しておわび申し上げます。



統合が検討されている温泉学校給食センター

問 町長公約を問う

町長 前進しているが見直しもある



西村 銀三 議員

五つの公約

問 岡本町長が誕生して2年経った。岡本力ラーの発揮はこれからだと思われるが、立候補した時①浜坂・温泉が助け合う温かい町づくり②福祉と健康を守る安心な町づくり③子育てに優しい町づくり④豊かな自然と歴史、特産物を活かした町づくり⑤無駄のない開かれた町づくり、公務員は町民と直結した頭脳集団だ。と5つの公約を掲げている。実行度を問う。

た関係は時の経過とともに良くなっている。また、町名問題では検討委員会の報告と反対の結果を選択することとなったが理解して欲しい。

②浜坂病院の医師確保では一定の前進がはかられた。

③温泉地区において放課後児童クラブの設置を予算化した。こども園、幼稚園、小中学校、高校との連携も前進している。

④香住より知名度は劣っており、魚のブランド化は相当な努力と年月が要る。セールズに一層の力をいれる。温泉を利用した別荘地は、大学跡地を検討していたが難しい。空き家が増えており、今後検討したい。

⑤中止にした事業もありかなり見直しをした。職員の対応は、苦情な

どに速やかな対応を心がけている。

入札資格

問 町の入札に国税、県税、町税の3つの証明書が必要だが、町税の証明書だけで良いのではないか。固定資産税を払わない町外業者が1円でも安ければ落札する。町税を払うには一定の利益が必要で

あり、価格が高くなっても不思議ではない。現在の入札制度の見直しが必要だ。

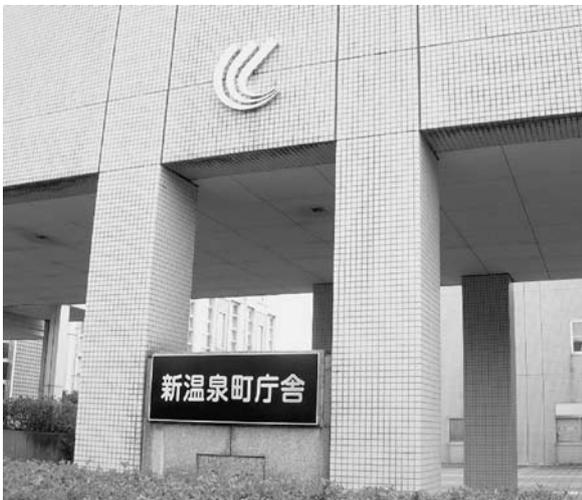
町長 すべての税を払っているかを確認するためだ。いたずらに町外業者には思っていない。

巨大ゴミ焼却場

問 私の推計では、20年間で負担総額は約50

億円となる。現在の処理費用は年間約1億円であり、約1億5千万円も増えることになる。人口割合をみても、全体の13%しかないのに、費用の負担は17%となっている。しかも運搬費は各町の負担であり、最も遠いから負担は多い。また、事業所からでたゴミの持込は出来ない。発泡スチロールもだめである。さらに、焼却場の運営は大手の民間事業者へ委託するから詳細は未定という。「多額の費用」と「不便さ」を考えると、この計画から離脱すべきだ。

町長 負担が著しく不公平とは考えていない。離脱はできない。住民の負担にならないよう努めたい。



町長公約はいかに

一般質問

問

悪政の防波堤の役割を果たせ

町長 にぎわいのある元気な町をめざす



谷口 功 議員

町の「人づくり塾」をつくらう

問 昨年、夢中、浜中の野球部・相撲部・サッカー部が全国大会

に出場するという活躍があった。一生懸命頑張った生徒はもちろんのこと、それを支えてこられた関係者の30年に及ぶ努力の賜物だと共に喜びたい。

閉塞感の漂う今日、これを打ち破るためにも人材の育成は欠くことのできない重要課題である。よって、町

として、子どもから大人までいつでも学ぶことができる環境づくりを進めることを提言する。

そのために、町内の文化、芸術、趣味など様々な優れた人材を登録し、教える人と学びたい人の出会いの場を提供する事業を始めることを求める。

町長 大

変意味のある提言をいただいた。30年前からコツコツと努力を重ねた歴史が、今大きく花開いた。何よりも小さな町



活躍する浜中相撲部練習風景

の小さなクラブが、努力すればやれるんだという自信と希望を与えたことに価値がある。ただ、優秀な選手や学力のある生徒が県外に出ていくことに隘路がある。

学校教育、社会教育のすそ野を広げることには、未来を見据えたときに地道な努力が本当に大事になる。

意のあるところを酌み、できるところから対応していきたい。

職員の情勢感が大切

問 今日の悪政と経済環境悪化のもと、行政

が住民の防波堤の役割を果たし、住民奉仕、住民サービスの充実に努めるには、職員の情勢感を養うことは極めて大切なことだ。どう考えているか。

町長 現在の状況を社会科学的に分析することは常に必要なことだ。

民主主義や社会発展は前進後退を繰り返しながら時間とお金もかかり、何よりも訓練された住民の知的水準の高さが必要とされている。

経済とエネルギーの地域循環を進めよう

問 エコ・コンパクトタウン構想は、経済とエネルギーの地域循環と、雇用確保を最優先に進めるべきだ。

町長 必ず近い将来エネルギーの需給が大きな問題になってくる。

我が町は自然エネルギーに満ちた町である特性がある。ご指摘のように、この特性を生かし地域のなかで循環し雇用も生まれるよう取り組みたい。

ごみの焼却処理を思い切って減らそう

問 北但行政の24年度予算と債務負担行為合わせて16億円の進入道路・敷地造成費が予算化された。一方、我が町のごみ処理基本計画の見直しが進められている。この根拠法である循環型社会形成推進基本法は、ごみ処理の順番を規定している。法に基づき処理計画にすべきだ。

町長 処理方式は焼却と、今日までの経過を積み上げて決めている。

問 豪雪にしっかり対応できたか

町長 必要な対応をとった



中井 次郎 議員

問 今年の冬は新雪が降り続き、町民から「除雪作業でもう疲れた」と悲鳴が上がっている。2月の晴れた日は3日間という状況。豪雪対策はしっかりできたのか。多くのボランティアが除雪に来ていただいた。その人数は除雪にかかった費用はいくらか。

町民課長 ボランティアに参加いただいた方は、2月26日までで7団体198人である。
建設課長 今年度、除雪にかかった費用は、2月29日現在で1億2027万5千円である。

る。昨年度は8652万3000円となっている。

問 この冬、二日市の水道のタンクの水（1000トン）が340トンまで下がり、空に近い状態になった。飲料水は大丈夫か。2月1日、消防のサイレン



急激に水位の下がった二日市の水道タンク

が鳴らなかつた原因は何か。

町長 降雪時に一気に水位が下がることが3回あり、降雪が原因である。今後、増設が必要かどうか上下水道課に検討を指示している。
町民課長 消防のサイ

レンは温泉が16基、浜坂が4基ある。温泉の5基が鳴らなかつた。冷え込みが強く無線が届かないことなどが原因である。

町長 平成28年には情報無線のデジタル化に対処する必要が出てくる。全戸に情報が伝達できるよう対応する。

町名は議会での議決が必要では

問 町名については、検討委員会の結果を受け、1月17日の臨時会で「町名はこのままとする」との意思を示され、これで、但し書きは削除されたこととなるのか。但し書きを含む合併協定は温泉・浜坂両町議会の議決によって有効となった。このことから但し書き削除についても町議会

の議決が必要ではと考えるが。

町長 法律の趣旨から、町議会の議決事項とはならないと考える。

所信表明に町民の暮らしの実態がない

問 3月議会では町長の所信表明を聞くが、そこには世界や日本経済の厳しさの記述はあるが、町民の暮らしの実態に触れた部分はない。なぜか。当然町長自身の認識があつて当然だと思ふが。
町長 指摘のとおりであり、書くべきだと思ふ。



議案審議

条例改正

兵庫県市町村職員退職手当組合規約の変更

この規約変更は、参加団体の一つが名称変更されたため行うもの。

町土地利用委員会設置条例の一部改正

法改正されたが、これまでどおり町基本構想に基づき委員会協議を行うもの。

町税条例の一部改正

東日本大震災被災者の雑損控除等を規定するもので、現在わが町に対象者はいない。

町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

法改正により、処理施設の技術管理者の資格要件を条例に定めるための変更と、プラスチックごみ分別のための袋代を加える改正。

介護保険料改定表

(単位：円)

区分	現行	改正後
第1段階	19,340	27,710
第2段階	19,340	27,710
第3段階	29,010	41,570
		34,920
第4段階	38,680	55,420
		48,770
第5段階	48,350	69,280
第6段階	58,020	83,130

町介護保険条例の一部改正

介護保険料は3年ごとに改定されるが、今回は43%の引き上げ、1号被保険者(65歳以上)の段階区分が6段階から8段階になる。

町手数料条例の一部改正

新たに地籍調査成果の証明料を加えるもので1件500円とする。

町営土地改良事業分担金徴収条例の一部改正

町営事業に加えて、県営事業であっても町が分担金を徴収できるよう改正。

町十字谷残土処分場条例の一部改正

県土木工事標準部掛かりに係わるダンプトラック積載量の改定による変更。

町営住宅条例の一部改正

法改正により、公営住宅に生保、高齢者、身体障害者等の単身者も入居が認められたことによる改正。

町下水道条例の一部改正

政令改正により、特定事業所が下水道に流してはならない化学物質の基準値を変更するもの。

町使用料徴収条例の一部改正

八田小学校、奥八田小学校が廃校のため使用施設から削除するもの。

加藤文太郎記念図書館条例の一部改正

法改正により、図書館協議会委員の選任基準を明示した。

町介護保険条例 反対討論

谷口 功

介護保険は2000年4月から始まったが、国は家族介護を解消し、社会全体で行う制度だとしていました。しかし、現状は介護離職、老々介護、孤立死、介護疲れによる自殺殺人などが大きな社会問題となっている。わが町の基本構想には、安心安全、質の高い生活づくりをかねて医療・福祉の充実を図ることは、いわば我が町の町是ともいえる重要課題である。ところが、介護保険制度が大幅に改悪され、サービスの切り下げ、事業者への報酬引き下げが予定されている。その上に、保険料を大幅に引き上げるという条例改正案である。年金引き下げや収入の減少、医療費や消費税など国民負担が増高するもとの保険料引き上げは認められない。

○鳥取市と新温泉町との定住自立圏形成に関する協定。

医療、産業振興、環境・福祉、ネットワーキング等生活基盤の充実と一体的な発展を図るため。

問 中心市と周辺の関係により各産業、医療のレベルアップが図れるか。

答 情報の共有が図れる。病院間の連携により医療のレベルアップを図る。医師が各病院とも不足しており、招聘は難しい。

反対討論

中井次郎

鳥取市と協定を結ぶことにより、新温泉町に何ら利点となるものはないと考える。

新温泉町は現在も医療、買い物などの経済活動で鳥取市と結びついている。新

温泉町が独自の施策を持たない限り、鳥取市へあらゆる面で流れていくことになり、人口減少にもつながることになると考える。

補正予算審議

問 ワンニャン夢ハウスは必要か。

答 指定管理料なしで運営している。湯村温泉には必要だ。

問 中学校は武道教育が考えられている。剣道と聞く。

答 浜中の男子は柔道。その他は剣道である。

問 電算機器減額、479万2千円の説明を求める。

答 電算の入札減と機器の入れ替えによる。

問 ごみ袋の強度が弱いと聞くが。

答 日本JIS規格の合格品である。10月で現在の袋がなくなるの

で業者に発注したい。



問 アルパックと上山エコ基本計画は適性に入札したか。

答 3社による入札で決定した。

問 海岸環境美化清掃業務の内容は。

答 海岸清掃を3漁協で対応する。

問 湯財産区から570万円入っているが。

答 湯財産区の特別会計である。



反対討論

西村銀三

町の総資産は760億円、そのうち即現金化できるものは45億円である。

借金は314億円、一人当たり196万円、基金は一人当たり28万円、一人当たりの借金は168万円になる。

今回ごみの広域事業に138億円をつぎ込む借金の上乘せになるばかりである。ごみ処理は小さく分散形こそ大震災の教訓である。さらに、住民が知事を訴えた裁判の対抗費用まで盛り込んでいる。

支所の事務対応が機能せず、本庁に聞いてくれなどの批判も寄せられていることも指摘し、反対討論とする。

臨時議会

平成24年1月17日 開会
平成24年1月27日

○公立浜坂病院

医師の所得税未納の件 訴訟の提起

○大雪による除雪費 5550万円増額

問 照来線町民バス通行止の理由は。

答 バスが大型化し、除雪が不十分であった。

問 除雪を嘱託職員でやる場合、超過勤務手当を出すべきだ。

答 嘱託職員は8時間労働で超過勤務手当はださない。



今年の豪雪風景

総務教育常任委員会

平成24年2月15日開会
平成24年3月8日開会
平成24年3月19日開会

税務課

○報告事項
・H23年度町税等徴収実績について
・町県民税等所得申告相談の実施状況

企画課

○報告事項
①鳥取・因幡定住自立圏構想の件
内容 密接な生活圏を形成する自治体がいかに補完・連携し地域の個性、資源を結びつけ圏域の魅力を高め定住と自立、人の流れを創出していくことを目的とする。等報告説明を受ける。
問 加入決定までは慎重な議論が必要である。
答 慎重に対応する。
②但馬空港の利用実績の件
問 欠航状況は。
答 4月～2月までで49便ある。
③第2次新温泉町情報化計画の策定の件



供用開始された光ファイバー網

町議会一般質問でのインターネット配信は平成24年度開始する。
問 ラジオ放送難聴解消に向けた取組み状況は。
答 NHKに再度確認する。
問 情報一元化が図れるか。
答 5年計画で取り組む。行財政改革になるか。
問 事務量増大に対する事務処理の迅速化、

行政情報の適正管理等で行財政改革になる。
④浜坂地域プロードバンド化（新温泉町情報通信基盤整備事業）
問 提供サービスは。
答 (1)超高速インターネット (2)IP電話 (3)光ケーブルテレビのサービスを提供する。
問 進捗状況は。
答 3月1日供用開始
⑤エコ・コンパクトタウン構想
問 ・生ゴミ処理機の助成・ソーラーシステムは高くつく・再生可能エネルギーに生ゴミが明記されていない。見直しが必要である。
答 地球環境に優しい町、循環型の町、自然と共生した

学校教育課

町づくり、新たな雇用の創出により、地域活性化に貢献する計画である。
⑥総合計画（後期計画）の策定の件
目的と役割
本計画は「新町まちづくり計画」を継承し、合併後の社会情勢の変化や財政状況等を踏まえ、H24～H28年度までの5年間で基本構想実現する計画である。

問 温泉小学校児童通学道路、積雪時、登下校危険な状況にある。消雪装置だけでなく除雪する等安全対策は。
答 先生が付き添う等安全指導に努める。建設課と協議する。
問 小学校用駐車場の確保すべきである。
答 自前確保を基本において検討を進めたい。

社会教育課

問 図書館の利用者を増やす手立ては。運営協議会開催状況、指摘事項は。
答 運営協議会は3月9日開催。喫茶コーナー、外部に癒しの場所を設置計画等意見がある。検討していきたい。

総務課

○報告事項
(1)職員の退職及び採用予定者の件
退職予定者6名、採用予定者3名である。
(2)臨時職員の募集及び採用予定者の件
採用予定者175名、応募者233名。
問 継続者は何名か。
答 同人採用150名である。
(3)新地方公会計制度の件
概要及び貸借対照表、コスト計算書、純資産変動計算書、収支計算書の説明を受ける。

産業建設常任委員会

平成24年1月23日開会
平成24年3月6日開会

牧場公園課

問 県の補正の追加の背景は。

答 17年目で設備が老朽化となり要求した。

問 指定管理を愛宕山観光が要望したと聞くが。

答 指定管理の変更はない。

農林水産課

戸別所得補償制度事業の実績について

問 ソバの単価が安価ではないか。

答 地域委員会で決定している。

問 23年度変動補填はないのか。

答 3月価格をふまえて検討する。

農地・水保全管理支払交付金について

問 24年度より実施されている。共同活動支援の内容は。

答 本年度より昨年度より実施している向上

活動支援とは別に、41集落が取り組む。しかし、継続地については75%を上限にしている。

問 新規就業総合支援事業の内容は。

答 研修2年、就農5年で自主経営を目指す新規制度であり、地元就農者を対象にする。24年度5名程度予定。

問 地籍調査について町全域を対象となっているが、何年かかるのか。

答 全域にすれば約150年は必要である。

問 我町のズワイガニ単価が低い原因は。

答 浜坂は、鮮魚、香住は加工業者が多く、仲買人が多い。今後浜坂もPRに努めたい。

建設課

問 畑ヶ平線、除雪を

通年5月であったが、今後の対応は。

答 4月末から除雪を予定している。

問 生活道路以外についても、除雪箇所がある。対応は。

答 生活道路を優先に除雪を行っている。

問 町道、二日市・古市線道路改良工事の進捗と、浜坂道との関係はどうなるのか。

答 計画線については、決定している。

商工観光課

まち歩き案内所改造工事について

問 事業のおくれはどうか。

答 土地問題があったが、工事は進めたい。

問 工期はいつか。

答 5月上旬の予定。運営の見通しはどうか。

答 24年度、嘱託1人

臨時1人を配置し、25年度より運営団体により行う予定。

問 NPO法人立上げの考えはないか。

答 時間が必要である。

問 道の駅整備事業の状況はどうか。

答 県と町と一体型の道の駅として進めているが、県との協議が調整できない。



雪かきボランティアの方々



道路改良が進む二日市古市線

環境福祉常任委員会

平成24年1月10日開会
平成24年2月21日開会
平成24年3月7日開会



にごり水対策の給水車

健康課

◎周産期医療センターについて

問 但馬では一極集中医療は行うべきでない。

答 現状を考えるとせざるを得ない。

問 分散によるメリットを考えるべきだ。

答 各町の医療施設の充実に努める。

上下水道課

◎岸田の花口水源地について

問 復旧にどれくらいかかるのか。

答 いまは雪が深くて状況が分からない。

問 竹田水源は使えないのか。

答 竹田から下流は対応して行きたい。

問 八田地区はどうするののか。

答 いままで給水車で対応している。今後も続けていく。

一度濁りが解消したが、また濁った。

問 最終の復旧はいつごろになるのか。

答 出来るだけ早く解決するように努力している。

公立浜坂病院

◎元非常勤医師の訴訟は。

問 監査請求の対応はどうするのか。

答 民事訴訟を開始し、協議中で慎重に対応したい。

問 監査の勧告を重視すべきだ。

答 法令上妥当か弁護士とよく協議する。

町民課

問 大雪対策と除雪ボランティア受け入れ状況について。

答 問題点の整理をして必要なボランティアの受入、啓発を行うことは大事であり進めていく。

◎24年度より生ごみ処理機購入費補助を再開する。



除雪ボランティア

臨時議会

平成24年1月17日

意見書を全会一致採択し、国会・政府関係機関に提出しました。

子ども・子育て新システムによる保育制度改革に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書

要旨

- 1 国及び市町村の公的保育責任を後退させる「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革ではなく、すべての子どもの健やかな育ちを保障するために、児童福祉法2条、24条に基づく現行保育制度を堅持・拡充すること。
- 2 市町村の保育実施責任をなくし、直接契約、直接補助、応益負担を原則にする「子ども・子育て新システム」は撤回すること。
- 3 国の責任において緊急に認可保育所の整備を行い待機児童の解消を図ること。地方自治体が待機児童解消に向けた取り組みができるよう、国が必要な支援と財政措置を行うこと。
- 4 保育所・幼稚園・学童保育及び

子育て支援関連予算を大幅に増やし、子育てにかかわる経済的負担の軽減を図ること。

- 5 保育の質の低下につながる保育所の国の基準の引き下げは行わず、国の責任において維持、改善すること。

- 6 幼保一体化など保育・幼児教育の制度設計にあたっては、地方自治体、保育・幼児教育関係団体、保護者等から十分な意見聴取を行い、慎重な検討を行うこと。

3月定例議会

平成24年3月23日

意見書を全会一致採択し、国会・政府関係機関に提出しました。

「社会保障と税の一体改革」としての消費税増税に反対する意見書

要旨

政府においては財源不足を口実とした社会保障の負担増と給付削減をやめること。さらに、「社会保障と税の一体改革」を口実にした消費税増税は行わないことを強く求める。

意見書を全会一致採択し、兵庫県（知事・教育委員長）に提出しました。

兵庫県高等学校普通科の通学区域のあり方に関する意見書

要旨

- 1 但馬を1通学区域（第5学区）にするという方針を撤回し、北但・南但通学区域を堅持すること。
- 2 現行の連携校方式を堅持すること。



現行の連携方式の堅持が求められる浜坂高校

採決一覽

議会日誌

主な議案採決一覽表

議案名	議員名																賛成	反対	採決
	1 西村銀三	2 植田光隆	3 丸山諄二	4 小林一義	5 西脇明	6 中村經逸	7 岡坂峰雄	8 中井勝	9 谷田一富	10 宮本泰男	11 谷口功	12 中井次郎	13 西村敏弘	14 宮脇論	15 西村公子	16 小林俊之			
介護保険条例の一部改正	×	○	×	欠	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	—	9	5	可
鳥取市と新温泉町との定住自立圏の形成に関する協定の締結	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	—	10	3	可
平成23年度 一般会計補正予算(第9号)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	×	欠	○	○	—	10	3	可
職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	—	13	2	可
平成24年度 一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	—	12	3	可
平成24年度 後期高齢者医療特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	—	12	3	可
平成24年度 介護保険事業特別会計予算	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	—	11	4	可

○は賛成、×は反対、—は議決権なし（全員賛成議案は省略いたしました）

議会日誌

6日	産業建設常任委員会 (第2日)	2日	第50回定例会 (第2日)	1日	第50回定例会 (第1日)	3月	28日	但馬広域事務組合 会定例会《養父市》	27日	美方郡広域事務組合 議会定例会	24日	議会運営委員会	23日	北但行政事務組合議 会定例会《香美町》	21日	環境福祉常任委員会	15日	総務教育常任委員会	13日	北但行政事務組合議 会定例会《香美町》	2月	27日	第49回臨時会 《神戸市》	26日	議会広報研究会 議会運営委員会	23日	産業建設常任委員会 議会運営委員会	17日	第48回臨時会 全員協議会
7日	環境福祉常任委員会	8日	総務教育常任委員会	12日	第50回定例会 (第3日)	13日	第50回定例会 (第4日)	14日	予算特別委員会	15日	予算特別委員会	16日	予算特別委員会	19日	総務教育常任委員会	21日	議会運営委員会	23日	奥八田・八田小学校 閉校式 第50回定例会 (第5日)	23日	第50回臨時会	16日	第50回臨時会	15日	第50回臨時会	14日	第50回臨時会	13日	第50回臨時会





「地元農産物を食べてもらいたい」 照来ふれあい市の挑戦

*活動内容、基本理念

照来の農産物なら何でも売っていく。照来らしい看板になる物を作る。地域内外の人が気楽に集まり、ゆっくりに楽しく話ができる場にする。全会員が力を合わせて運営に当たる。

*開店時間

毎週（土） 6時30分～8時30分（照来土地改良区事務所前）

毎週（日） 6時30分から8時（湯村ポケットパーク）

*会員数

20名。

全会員による当番制。

*アピールできる点

お客様にまた来ていただくようにとポイントカードの導入。湯村の町への出張朝市開店。内部組織として加工グループを持つ。（惣菜、菓子製造業の取得）オリジナル商品手作りコンニャク「かぐや姫」など。地元の豆腐屋魚屋も一緒に販売。ふれあいの場作りをとこーヒーサービス。

加工グループは構成員10名

販売品目……栃餅、よもぎ餅、やたら漬



するめ麴漬、コロツケ（イベント時） 山菜

おこわ、牛肉じゃぶ、牛カレーなど

*今までの足跡

H16年3月照来7集落で直売所を考える会。4月勉強会参加者で照来直売所準備会。

7月照来全戸に案内、説明会。8月7日オープン。

H17年加工研究会。11月照来ふれあい市ふるさと加工グループ発足。1月加工施設完成（惣菜、菓子、製造許可取得）H20年4月ポイントカード始める。9月湯村へ出張朝市始める。（夢千代館前）H21年8月ポケットパークに移動して開店。続行中。

*今後の課題

新商品の開発。後継者の育成。研修会の開催。湯村の観光客をも視野に温泉名物の朝市を目指す。検討されている道の駅構想が実現すればさらに夢がふくらむと考えます。

照来ふれあい市
ふるさと加工グループ

代表 小谷 一夫

あとがき

今年の冬は積雪も多く厳寒であり、町民の皆様もご心配されたことと思います。

又、異常気象により、「低気圧」が発生しましたが、被害もなくよかったと思います。

名産であるカニのシーズンが終わり、特産のホタルイカの季節になりましたが、水揚げ量が昨年より減少していると聞き心配しています。

学校や職場で希望を胸にはつらつとした人達の限らない成長を見守りたいものです。

次回定例会は

6月です。

傍聴して下さい。

議会広報調査特別委員会

委員長 中村 経逸
副委員長 西村 公子
委員 植田 光隆
小林 一義
小宮 本泰
谷 口

発行者 議長 小林俊之